

自分だけの世界を持つことが 私らしさを磨いてくれる。

あなたの趣味は何ですか。打ち込める何が、
持っていますか。熱中できる時間は、私らし
さに磨きをかけられる、大切な大切な時。
好奇心に素直になつて、好きになれそうな
こと、始めてみましょうか。今回は、カーレ
ースに自分を掛けている天本さんに、夢を
育む時間についてインタビューします。



PROFIEL

天本 結子さん Yuiko Amamoto



■ 未来の私に出逢える面白さ。

「自分でも知らなかった自分に出逢えること
かもしれませんね」

レースの魅力をまずはそう分析してくれた天
本さん。昂ったり、くやしがつたり。仲間へ
の感謝や、やり遂げた時の充実感……。
「レースをやっていないからとても感じら
れない感情が自分の中からわき出てくるん
です。ヘルメットをかぶったとたん視野が狭く
なつて、グリップと自分だけの世界に。時速2
00 km以上の世界では次のコーナー以外は見
えなくなる。そんな状況の中だから、自分で
も「私ってこんな性格だったの」って思える
瞬間が生まれるんですよね。
。自分だけの世界」とはいうものの、スター

■ レースはいつも初めての気持ち。

何周も同じコースを回るレースですが、その
度に初めての感触を味わう天本さん。
「天候や自分の調子、路面の状況、他のクル
マとの位置関係など。いろんな要素が重なっ
て、慣れたサーキットでも、いつも初めての
気持ちになります」。

他車の前に出ている時は、約20分のレースの
時間が1日以上に思えるほど長く、逆に追い
かける立場だと同じ時間でもまたたく間に過
ぎるとも。自分の心臓の音が大ききこえて

■ 女性らしさも光らせたい。

仕事もクルマ。オフのほとんどがレースのた
めの時間。

「レース以上に好きなこと、ないですね。だ
から今の環境も、そして回りのみなさんにも
本当に恵まれていますね」と笑います。
とにかく今は勝つこと。地道に努力を重ねて、
いつかはプロに、と夢は広がります。「何ごと
にもくじけない気持ち」をレースから学んだ
という天本さんだから、そんな夢もしっかり

トラインに並んだとき、いつも天本さんが思
い浮かべるのは、チームのメンバーの顔。
「監督をはじめ、クルマをつくってくれるみ
んな。私を走らせてくれるために、たくさん
の人が動いてくれている。私にできるのは成
績で返すことだけ。だから、クラッシュとリ
タイヤなして完走、1戦も落とさないことを
心掛けて当然」。
始めた頃に較べると、ドライビングが冷静に
なつたと思うのもそのためから。一歩先を考
えて、落ち着いた判断ができるようになった
と感ずるのも、仲間に対しての思いがベース
になつているようです。

くるぐらいい緊張することもあるとか。

「乗り込んだら、どう走るのがベストかをイ
メージ。同時に最悪の事態も考えておきます。
先に頭に入れておけば、もしもの時にも、と
つさに判断、行動できますから」。

レースのことが好きでたまらない、とばかり
に、次から次へと言葉が出て。「キレイに抜い
て走りきる」という天本さんの走りと同じよ
うに、歯切れのいいおしゃべりが続きます。

とキヤッチしてくれることでしょうか。けれど、
「レースって体力勝負。腕や足にバッチリ筋
肉がついちやうんですよ。23歳の女性として
の魅力もちゃんと磨いて、身に付けていかな
くては、と思っているんですけどね」。
いえ、いえ。ほとんどが男性というカーレー
スの世界にいるからこそ、かえって女性らし
さも光る、天本さんなのです。